

令和7年7月28日

報道機関 各位

## 先進軽金属材料国際研究機構に YKK AP 株式会社との 共同研究講座（アルミ再生・循環システム工学）を設置

### ■ ポイント

- ・富山大学と YKK AP 株式会社はアルミ再生・循環システム工学（YKK AP）共同研究講座（※1）を設置
- ・以下の研究課題に取り組む
  - 1) アルミニウム合金スクラップからの不純物分離プロセス
  - 2) 不純物を含むアルミニウム材料の特性改善
  - 3) アルミニウムリサイクル工程のエネルギー削減
- ・共同研究講座教員1名を置き、当該教員にはクロスアポイントメント制度（※2）を適用
- ・上記の研究課題に産学連携体制で取り組むことは、リサイクルアルミの価値向上、持続可能なアルミ産業の構築、新規リサイクルプロセス構築に伴う雇用創生、SDGsに資する環境ビジネスの創生等の成果に大きく貢献

### ■ 概要

アルミリサイクル率の向上には、市中から回収される多様なアルミニウム合金スクラップから不純物を効率的に除去する技術や、除去しきれない不純物を含んだ状態でも材料として高い特性を発揮させる技術の確立が不可欠である。これらの課題解決を加速させるため、地球環境への貢献を掲げ、脱炭素化・循環型社会実現に向けた仕組みづくりを推進している YKK AP が、軽金属材料の研究の中でも、特にアルミニウム分野で高度な技術や学術的な知見を有する富山大学に共同研究講座を設置した。

なお、富山大学では、令和6年度に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の共創の場形成支援プログラム地域共創分野にて本格型に昇格を果たし、現在「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」として日々研究に取り組んでいる。YKK AP は本事業に幹事企業として参画しており、富山大学や関係自治体、参画企業と連携してアルミニウム資源循環モデルの構築に取り組んでいる。当該事業の枠組みを尊重しながら、今回の共同研究講座を通じて、YKK AP が持つ各種設備や専門技術と、富山大学が持つ先進的な技術や学術的知見を融合させることで、カーボンニュートラルに資する研究と実用化を加速させ、持続可能な社会の実現にさらなる貢献を行う。

### 【用語解説】

※1：共同研究講座（国立大学法人富山大学共同研究講座規則から抜粋）

共通の課題に関し本学と共同で研究を実施する民間等外部の機関から本学に受け入れる経費を活

用して設置及び運営し、もって本学の研究の進展及び充実に資することを目的とする

※2：クロスアポイントメント制度（国立大学法人富山大学職員のクロスアポイントメント制度に関する規則から抜粋）

次のいずれかに該当するものをいう。

- 1) 教員が、本学の職員の身分を保有したまま他機関の職員として雇用され本学及び当該他機関の業務を行うこと（ただし、兼業によるものを除く。）。
- 2) 他機関の職員の身分を保有する者が、当該他機関の身分を保有したまま本学の職員として雇用され、当該他機関及び本学の業務を行うこと。

**【本発表資料のお問合せ先】**

富山大学研究推進部研究振興課 担当：豊田

TEL：076-445-6386（直通） E-mail：kenshin@adm.u-toyama.ac.jp

**【本発表資料の配信元】**

富山大学 総務部総務課 広報・基金室 (TEL) 076-445-6028 (FAX) 076-445-6063